

問 熊 本

黨常任委員ノ大半ハ日本労働同盟ノ大幹部デアルガ其同盟ノ生駒會議ニ於テハ國家社會主義ト規定シテ置キナガラ黨中央委員會ニ於テ之ニ反スル決定ヲナシタルハ如何ナル理由ニヨルカ

答 陶 山 篤 太郎

自分ハ七月十日ノ生駒會議ニハ出席シナカッタガ其時ノ決定ニハ反對デアル、強テ其決定ヲ固守セラル、場合ニ於テハ神奈川縣聯トシテハ同盟ヲ脱退スル迄デアル

右補足 今 村 等

生駒會議ノ空氣ヲ見ルニ彼ノ時ハ彼ノ様ニ決定セネバ同盟ハ分裂シタデアロウ

其分裂ノ危機ヲ逃レンガ爲メニ一時的ニ政治的解決ヲシタニ止マルモノデ今日ノ情勢ハ其時ト違ツテ來テ居ルカラ其時ノ決定ヲ以テ今日ヲ論ズルハ失當ト思フ

右應答ヲ劈頭トシテ質問ノ進ムニ連レ討論ニ隨シ大体

熊本、本多、山本（東京）等ハ日本精神反對ヲ唱ヘ

高井、森、陶山、山本龍助ハ國社主義反對ヲ主張シ

双方共相讓ラズ激論シタルガ此時大矢、安齋ノ兩名遲刻出席シ

大 矢

双方共議論ハ最早盡キタ管デアルカラ要ハ組合第一主義カ黨第一主義カデアアル

私ハ飽迄組合第一主義ヲ進ミタイ、黨第一主義中ニハ労働組合不  
必要論ヲ唱ヘル者サヘアルガ暴論モ甚シイ

何時ノ分裂ヲ見テモ相違シタ政治的意見ヲ組合ニ押付ケヨウトスルコトニ原因シテ居ル 今日集ツテ居ルオ互ハ日本ニ於ケル労働運動ニ相當苦勞シテ來タ人々ノミデアル 何トカ讓歩シ合ツテ分裂ヲ防グベキデアルト思ウ

安 齋